

2024 第 8 回小野寺眞悟杯
北海道特別支援学校フットサル大会
第 3 回全国特別支援学校フットサル大会北海道地区大会



開 催 要 項



「手と手をつないで」

令和 5 年度北海道手稲養護学校三角山分校高等部 3 年 青木健さん、熊谷空さん（合作）

主催 公益財団法人明日佳

共催 公益財団法人日本ライオンズ

後援 スポーツ庁 全国特別支援学校長会 北海道教育委員会 江別市 江別市教育委員会

主管 札幌北の杜ライオンズクラブ エスポラーダ北海道

協力 医療法人明日佳 社会福祉法人明日佳 社会福祉法人長沼陽風会

北海道特別支援学校長会 公益財団法人北海道サッカー協会

ご あ い さ つ

私は、スポーツの力を信じて本小野寺眞悟杯を主催してまいりました。スポーツは、元気や協力・協調、向上心などを養う力を持っています。

私は、本道の特別支援学校の皆さんにこのスポーツの力をエネルギーとして、学校卒業後も地域の中で働くなどの円滑・円満な楽しく豊かな生活をしてほしいと願って本大会を開催しています。



さて、この大会も今年で8回目の開催になります。この間、第4回及び第5回大会は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、やむなく中止といたしました。特別支援学校の生徒の皆さんと先生方の熱意の下で今年も無事に開催することができました。心より御礼申し上げます。

本大会は、一昨年度より公益財団法人日本ライオンズが主催する全国特別支援学校フットサル大会の北海道地区大会(カテゴリー2の部を対象)として位置付けられております。昨年度の第2回全国大会福岡大会には、本大会優勝校の市立札幌みなみの杜高等支援学校が出場しました。全国12校の全国大会に参加し、生徒同士の交流を含めて、とても意義ある生徒が成長することができた大会であったとの報告をいただきました。今年の優勝校は、名古屋で開催される第3回全国大会に出場します。今年度も、参加校生徒全員の切磋琢磨したプレーとチームでの協力した姿をと期待しております。

最後に、本大会は特別支援学校に学ぶ生徒の皆様方の自立性と自主性を育み、将来の社会生活の一助になればとの強い願いで開催しております。このことから、チーム引率の教師やご両親などには、是非、生徒の自主的・自発的プレーを信じていただき、「指示・命令」に類した言葉を発せず、心の中でのご声援を頂ければ幸いとお願ひ申し上げます。

2024 (令和6) 年 7 月 27 日

公益財団法人 明日佳

理事長 小野寺 眞 悟

大会役員

大 会 長 顧 問	公益財団法人明日佳 日本ライオンズ 331 地区委員会 日本ライオンズ 331-A 委員会 公益財団法人明日佳 札幌北の杜ライオンズクラブ 札幌北の杜ライオンズクラブ 北海道岩見沢高等養護学校 北海道星置養護学校 北海道南幌養護学校 北海道星置養護学校 エスポラーダ北海道 エスポラーダ北海道 札幌フットサル連盟役員 医療法人明日佳	理事長 業務執行理事 理事 評議員 監事 委員長 委員長 事務局長 会長 校長 教諭 教諭 寄宿舎指導員 スクールダイレクター 看護師	小野寺 眞 悟 吉 田 洋 一 三 好 昇 彦 吉 田 一 彦 大 川 哲 也 小 幡 朋 弘 水 野 克 也 山 崎 巖 裕 片 山 雅 裕 鈴 木 重 男 佐々木 久 利 平 山 誠 櫻 田 なおみ 東海林 博 雄 五十嵐 寛 松 下 高 広 加 藤 多満美 海 田 健 利 田 中 英 利 武 田 沙 奈 吉 田 順 省 中 瀬 愛 菜 有 澤 由 香
実 行 委 員 長 総 務 委 員 長 総 務 委 員 運 営 委 員 長 運 営 委 員	審判・競技委員長 審 判 医 務 委 員 長 医 務 委 員		

小野寺眞悟杯北海道特別支援学校フットサル大会の大会履歴

開催年度	回 数	カテゴリー別 参加校数	優 勝	準優勝	第3位
2017 平成 29 年	第 1 回	16校	白樺高等養護学校	高等聾学校	札幌豊明高等支援学校 韓国安東永明学校
2018 平成 30 年	第 2 回	I 5校 II 21校	平取養護学校ペテカリの園分校 新篠津高等養護学校	帯広養護学校 高等聾学校	南幌養護学校 今金高等養護学校
2019 令和 元年	第 3 回	I 4校 II 23校	帯広養護学校 新篠津高等養護学校	平取養護学校ペテカリの園分校 今金高等養護学校	南幌養護学校 札幌あいの里高等支援学校
2020 令和 2 年	第 4 回	新型コロナウイルス拡大の為 大会の開催を中止			
2021 令和 3 年	第 5 回	新型コロナウイルス拡大の為 大会の開催を中止			
2022 令和 4 年	第 6 回	I 1校 II 14校	帯広養護学校 中札内高等養護学校	札幌あいの里高等支援学校	新篠津高等養護学校
2023 令和 5 年	第 7 回	I 1校 II 18校	星置養護学校ほしみ高等学園 市立札幌みなみの杜高等支援学校	中札内高等養護学校	高等聾学校
2024 令和 6 年	第 8 回	I 2校 II 18校			

開催要項

1 目的	本大会は、特別支援学校生徒がフットサルを通して、日々、鍛錬してきた成果を踏まえ、自校生徒間のチームワークを深めるとともに、他国・他校生徒に対しては敬意の念を持ってプレーし、もって社会性を養い、就労への意欲を高めて、インクルーシブ社会の実現に向けた当事者としての成長に寄与することを目的とする。
2 会場	北海道立野幌運動公園体育館
3 日時	2024(令和6)年7月27日(土) 午前9時00分～午後4時00分
4 主催	公益財団法人明日佳
5 共催	公益財団法人日本ライオンズ
6 後援	スポーツ庁 全国特別支援学校長会 北海道教育委員会 江別市 江別市教育委員会
7 主管	札幌北の杜ライオンズクラブ エスポラーダ北海道
8 協力	医療法人明日佳 社会福祉法人明日佳 社会福祉法人長沼陽風会 北海道特別支援学校長会 公益財団法人北海道サッカー協会
9 大会日程	① 全校参加による開会式 午前 9時 10分～ ② 予選リーグ・決勝トーナメント 午前 10時 00分～ ③ 全校参加による表彰・閉会式 午後 3時 30分～
10 その他	① 中高等部併置校は、カテゴリー1に出場する。 ② 「釧路鶴野支援学校」「中標津支援学校」並びに「高等養護学校」「高等支援学校」は、カテゴリー2に出場する。 ③ カテゴリー1は生徒8名、引率者3名、計11名で編成する。 カテゴリー2は生徒8名、引率者2名、計10名で編成する。 ④ 前泊及び後泊を必要とする遠隔の学校については、札幌までの都市間バス代金の障がい者割引往復を助成する。また、前泊及び後泊を必要とする学校には、宿舎を用意し、その費用を助成する。なお、都市間バス札幌ターミナルから指定宿舎までの間は各学校負担とする。札幌市内学校及び日帰りの札幌市近郊の学校への移動費用の助成はないので、留意願うものとする。 ⑤ 参加校は、自校生徒及び相手校生徒等への努力・敬意・勝者への称賛等を大事にする心を持つよう、各種の指導場面での留意に努める。 ⑥ 大会参加にあたって、各学校は旅行及びスポーツ傷害保険等の加入手続きを済ませる(日本スポーツ振興センター災害共済給付に加入している場合はこれに代わるものとする)。 ⑦ 大会当日のチーム構成員分の昼食弁当は、大会運営側で準備する。 ⑧ 参加校は、チーム構成員の各種疾病に係る健康チェックを各自で実施する。 ⑨ 本大会は、監督・コーチの立位及び座位でのベンチでの生徒への指示(選手交代時を除く)の一切を禁止するので、各校の日々の練習もそのような生徒の主体的行動を促す指導に努めることを求める。 ⑩ 競技規則は、(公財)日本サッカー協会のフットサル競技規則に準ずるが、参加学校の特性及び生徒の障がいの特性等に応じて、各ゲーム内において各参加校の共通理解の下、適切に運用する。例えば、聴覚に障害のある生徒が出場する場合は、審判は手旗を使用する。 ⑪ 参加校は、本大会を共催する公益財団法人日本ライオンズの大会の基本コンセプトを遵守する。

競技規則

- ◎ 原則として、(公財)日本サッカー協会制定のフットサル競技規則を適用する。
- ①本大会カテゴリー2の優勝校は、第3回全国特別支援学校フットサル大会に出場する。
 - ②ボールは、4号フットサルボールを使用する。
 - ③選手の交代は自由である。試合開始前に選手全員が審判に用具のチェックを受け、試合中の申し出は不要とする。交代時は、自陣ベンチ付近にてピッチ内の選手が完全にピッチの外に出てから、次の選手がピッチ内に入る。監督は責任をもって、選手交代の管理監督を行う。
 - ④キックインは、ボールがピッチから出た地点のサイドライン上から静止したボールを4秒以内に蹴る。相手競技者はボールから5m以上離れる。
 - ⑤ゴールクリアランスは、ゴールキーパーがペナルティエリア内から4秒以内に実施する。相手競技者はキーパーからボールがリリースされるまでペナルティエリア内に入ることが出来ない。
 - ⑥キックインから直接ゴールは出来ない。直接ゴールした場合は、ゴールクリアランスから再開する。
 - ⑦キックイン、フリーキック等による再開する際は、相手競技者は5m以上離れる。
 - ⑧ファイブファウルは、今大会は適用しない。
 - ⑨試合時間は、主催者が示した所定の時間のランニングタイム方式で行う。所定の時間は以下のとおり。
 - ・予選リーグ及びカテゴリー1の各試合… 全て8分1本で実施。
 - ⑩順位決定戦(リーグ戦)
 - … 1位決定リーグ 全て 10分1本で実施。
 - 2～6位決定リーグ 全て 8分1本で実施。
 - ⑪順位の決定は以下のとおりとする。
 - 1 勝ち点(勝利・3点、引分・1点、敗北・0点)
 - 2 得失点差(総得点 - 総失点)
 - 3 総得点が多いチーム
 - 4 当該チームの成績
 - 5 抽選(コイントス) ※本部は当該チームと協議する。
 - ⑫タイムアウトは適用しない。
 - ⑬安全面を考慮し、対人場面でのスライディングタックルを禁止する。なお、危険行為等が起きた際は、その場から直接フリーキックにて再開する。
 - ⑭バックパスルールは競技規則通りに適用する。
 - ⑮退場処分は、レッドカードもしくは1試合2度のイエローカードによるものとするが、次の試合には累積しない。退場後の選手の補充は競技規則に則るものとする。
 - ⑯選手は、同色のユニホームを着用する。ユニホームがない場合、又は両チーム同色の場合は、各チームのビブス(各チームはユニホームと色が異なるビブスを持参すること)の着用により対処する。
 - ⑰出場選手は必ずレガースを着用することとする。
 - ⑱ネックレス、指輪、ピアスなどの装飾品を装用することは禁止とする。ヘッドギアやフェイスマスク、膝や肘のサポーターは柔らかくパッドの入ったものとする。眼鏡を着用する際は、スポーツメガネ、又はゴーグル等でカバーすること。いずれの場合もチームの第1試合の前に主催者の承認を得ることとする。
 - ⑲ベンチには大会に登録された選手、スタッフのみが入れる。
 - ⑳監督のみ、「交代指示及び身体等の危険・緊急時の指示」のコーチングを許可する。したがって、通常のゲーム中においては、監督及びコーチ等によるコーチングは本大会の主旨により、原則、禁止とする。

公益財団法人日本ライオンズの大会基本コンセプト 『自立とRESPECT』

○ 自立への願い

公益財団法人日本ライオンズは、特別支援学校の多くの生徒が、卒業後、実社会に出て就労することを踏まえて、生徒が自ら判断し、自立的行動が可能になるように、生徒の主体的判断を尊重する大会を目指しています。

このため本大会は、通常のフットサル競技会では許されている監督・コーチのベンチでの指示・命令を禁止しています。監督・コーチは、選手交代時以外はベンチに座り、状況を見守り、生徒の自立的行動を正確に把握して、穏やかな態度で、生徒が主体的な判断・決定・実行する力を高めるよう、温かな思いやりのある行動を期待しています。

○ RESPECTへの願い

生徒は、卒業後、実社会に出た場合、RESPECT「他人への思いやり」があれば、大抵のことは円滑に進めることができます。この大会を通して、自校や他校の生徒同士、学校の先生、大会関係者、特にゲームでは審判へのRESPECT行動を具体的に示す大会を目指します。

このため会場では、自校の生徒同士、引率の先生、対戦相手校の生徒と先生、審判、大会関係者などにはRESPECTを表す「こんにちは」や「お願いします」「ありがとうございます」などの具体的な礼儀や言葉遣いを行うことを期待しています。

開会式並びに表彰式及び閉会式次第

○整列		各参加校は、所定の場所に集合・整列	
09:10			
○開会式	開会宣言	実行委員長	鈴木重男
09:15	国歌斉唱	日本国国歌	
	優勝旗返還	カテゴリー1 北海道星置養護学校ほしみ高等学園 カテゴリー2 市立札幌みなみの杜高等支援学校	
	準優勝杯返還	カテゴリー2 北海道中札内高等養護学校	
	主催者挨拶	大会長	小野寺 眞 悟
	祝 辞	江別市長	後 藤 好 人
	選手宣誓	市立札幌みなみの杜高等支援学校代表	阿 部 譲 希
	大会注意	エスポラーダ北海道スクールダイレクター	吉 田 順 省
09:45		終了（競技 10:00～14:56）	
○表彰式	優勝校表彰	大会長	小野寺 眞 悟
15:30	準優勝校表彰	江別市教育長	黒 川 淳 司
	第3位校表彰	札幌北の杜ライオンズクラブ会長	佐々木 久 利
○閉会式	主催者挨拶	大会長	小野寺 眞 悟
15:40	閉会宣言	実行委員長	鈴木重男
○記念品贈		札幌北の杜ライオンズクラブ	
○集合写真		札幌北の杜ライオンズクラブ	
15:50		終了 16:00	

試合日程

【予選リーグ】 10:00～

- 8分1本のランニングタイムで3コートにて行う。
- 各ブロックで1位～6位までを決定し、その後、順位リーグを実施する。
- 予選リーグの順位については、以下の順により決定する。
 - ①勝ち点（勝ち 3点、引き分け 1点、負け 0点）
 - ②得失点差（総得点－総失点）
 - ③総得点
 - ④当該チームの成績
 - ⑤抽選（コイントス） ※本部は当該チームと協議する。

Aブロック（カテゴリー2） (Aコート)

	A校	B校	C校	D校	E校	F校
A校	/	A1	A4	A12	A15	A8
B校		/	A7	A14	A5	A10
C校			/	A2	A11	A13
D校				/	A9	A6
E校					/	A3
F校						/

Bブロック（カテゴリー2） (Bコート)

	G校	H校	I校	J校	K校	L校
G校	/	B1	B4	B12	B15	B8
H校		/	B7	B14	B5	B10
I校			/	B2	B11	B13
J校				/	B9	B6
K校					/	B3
L校						/

Cブロック（カテゴリー2） (Cコート)

	M校	N校	O校	P校	Q校	R校
M校	/	C1	C4	C12	C15	C8
N校		/	C7	C14	C5	C10
O校			/	C2	C11	C13
P校				/	C9	C6
Q校					/	C3
R校						/

タイム・テーブル

10:00～	第1試合	A1	B1	C1
10:12～	第2試合	A2	B2	C2
10:24～	第3試合	A3	B3	C3
10:36～	第4試合	A4	B4	C4
10:48～	第5試合	A5	B5	C5
11:00～	カテゴリー 1			E1
11:12～	第6試合	A6	B6	C6
11:24～	第7試合	A7	B7	C7
11:36～	第8試合	A8	B8	C8
11:48～	第9試合	A9	B9	C9
12:00～	第10試合	A10	B10	C10
12:12～	カテゴリー 1			E2
12:24～	第11試合	A11	B11	C11
12:36～	第12試合	A12	B12	C12
12:48～	第13試合	A13	B13	C13
13:00～	第14試合	A14	B14	C14
13:12～	第15試合	A15	B15	C15

カテゴリー1 組み合わせ

(Bコート)

	S校	T校	
S校	/	E1	E2
T校	E1	/	E2
			/

	平取	ほしみ	
北海道平取養護学校	/	11:00	12:12
北海道星置養護学校 ほしみ高等学園	11:00	/	12:12

- ・8分1本
- ・午後の順位決定戦の時間帯に1試合(E3)を予定。

【予選リーグ】 カテゴリー2 組み合わせ

<Aブロック>

(Aコート)

学校名	高等聾	小樽	伊達	今金	紋別	みなみの杜	勝ち点	得失点差	順位
北海道高等聾学校									
		10:00	10:36	12:36	13:12	11:36			
北海道小樽高等支援学校	10:00		11:24	13:00	10:48	12:00			
北海道伊達高等養護学校	10:36	11:24		10:12	12:24	12:48			
北海道今金高等養護学校	12:36	13:00	10:12		11:48	11:12			
北海道紋別高等養護学校	13:12	10:48	12:24	11:48		10:24			
市立札幌みなみの杜高等支援学校	11:36	12:00	12:48	11:12	10:24				

<Bブロック>

(Bコート)

学校名	新篠津	千歳	中札内	白樺	釧路鶴野	小平	勝ち点	得失点差	順位
北海道新篠津高等養護学校									
		10:00	10:36	12:36	13:12	11:36			
北海道千歳高等支援学校	10:00		11:24	13:00	10:48	12:00			
北海道中札内高等養護学校	10:36	11:24		10:12	12:24	12:48			
北海道白樺高等養護学校	12:36	13:00	10:12		11:48	11:12			
北海道釧路鶴野支援学校	13:12	10:48	12:24	11:48		10:24			
北海道小平高等養護学校	11:36	12:00	12:48	11:12	10:24				

<Cブロック>

(Cコート)

学校名	札幌	あいの里	豊明	函館	幕別	中標津	勝ち点	得失点差	順位
北海道札幌高等養護学校									
		10:00	10:36	12:36	13:12	11:36			
北海道札幌あいの里高等支援学校	10:00		11:24	13:00	10:48	12:00			
市立札幌豊明高等支援学校	10:36	11:24		10:12	12:24	12:48			
北海道函館高等支援学校	12:36	13:00	10:12		11:48	11:12			
北海道中札内高等養護学校 幕別分校	13:12	10:48	12:24	11:48		10:24			
北海道中標津支援学校	11:36	12:00	12:48	11:12	10:24				

【順位リーグ】 13:30～

○1位リーグは10分1本、2～6位リーグは8分1本のランニングタイムで3コートにて行う。

1位リーグ (Aコート)

	A1位	B1位	C1位
A1位	/	A2	A4
B1位		/	A6
C1位			/

2位リーグ (Bコート)

	A2位	B2位	C2位
A2位	/	B2	B4
B2位		/	B6
C2位			/

タイム・テーブル

13:30～	第 1試合	A1 B1 C1
13:42～	第 2試合	A2 B2 C2
13:56～	カテゴリー 1	E3
14:08～	第 3試合	A3 B3 C3
14:20～	第 4試合	A4 B4 C4
14:34～	第 5試合	A5 B5 C5
14:46～	第 6試合	A6 B6 C6

3位リーグ (Cコート)

	A3位	B3位	C3位
A3位	/	C2	C4
B3位		/	C6
C3位			/

4位リーグ (Aコート)

	A4位	B4位	C4位
A4位	/	A1	A3
B4位		/	A5
C4位			/

※第2試合、第4試合、第6試合は
試合時間 1位リーグ 10分
2～6位リーグ 8分

5位リーグ (Bコート)

	A5位	B5位	C5位
A5位	/	B1	B3
B5位		/	B5
C5位			/

6位リーグ (Cコート)

	A6位	B6位	C6位
A6位	/	C1	C3
B6位		/	C5
C6位			/

【予選リーグ 結果】

順位	Aブロック	Bブロック	Cブロック
1位			
2位			
3位			
4位			
5位			
6位			

【順位リーグ タイム・テーブル】

	Aコート		Bコート		Cコート	
13:30～	A4位 × B4位	A1	A5位 × B5位	B1	A6位 × B6位	C1
13:42～	A1位 × B1位	A2	A2位 × B2位	B2	A3位 × B3位	C2
13:56～			カテゴリー 1	E3		
14:08～	A4位 × C4位	A3	A5位 × C5位	B3	A6位 × C6位	C3
14:20～	A1位 × C1位	A4	A2位 × C2位	B4	A3位 × C3位	C4
14:34～	B4位 × C4位	A5	B5位 × C5位	B5	B6位 × C6位	C5
14:46～	B1位 × C1位	A6	B2位 × C2位	B6	B3位 × C3位	C6

選手名簿

カテゴリー1

北海道平取養護学校	
責任者	大 辻 幸 希
引率者	長 沼 隼 人
引率者	松 岡 咲 葵
選手 1	佐 藤 智 幸
選手 2	中 濱 聡 斗
選手 3	所 碧 斗
選手 4	布 施 光 基
選手 5	田 中 大 輝
選手 6	高 橋 快 斗
選手 7	渡 邊 拓 実
選手 8	北 出 聖 恋

北海道星置養護学校 ほしみ高等学園	
責任者	佐 藤 正 弥
引率者	前 田 健 太
引率者	鈴 木 圭
選手 1	瘧 師 和 哉
選手 2	富 樫 武 留
選手 3	福 島 翼

カテゴリー2

北海道中札内高等養護学校	
責任者	江 原 徳 明
引率者	菊 地 勲
選手 1	塩 谷 壮 琉
選手 2	谷 口 雅 文
選手 3	辻 澤 恒 汰
選手 4	伊 賀 聖 也
選手 5	沖 野 寛 樹
選手 6	杉 山 龍 央
選手 7	木 村 莉 緒
選手 8	田 中 翔 冴

北海道中札内高等養護学校 幕別分校	
責任者	津 辻 貴 之
引率者	小 玉 涼
選手 1	佐々木 龍之介
選手 2	原 下 權
選手 3	松 本 大
選手 4	高 橋 優 愛
選手 5	林 胡 桃

北海道札幌あいの里高等支援学校	
責任者	笹 本 大 輔
引率者	城 村 朋 希
選手 1	星 野 颯 汰
選手 2	小 林 大 樹
選手 3	照 井 蘭 々
選手 4	篠 原 凜 音
選手 5	長谷川 駿 太
選手 6	吉 田 一 孝
選手 7	澤 健 太
選手 8	西 高 龍 聖

北海道千歳高等支援学校	
責任者	豊 島 猛 志
引率者	齋 藤 芳 朗
引率者	長谷部 啓 太
選手 1	仲 上 悠 希
選手 2	成 田 郁 斗
選手 3	浦 稜 眞
選手 4	水 谷 草 太
選手 5	日 吉 柳之進
選手 6	加 藤 流 晟
選手 7	佐 藤 翼
選手 8	白 旗 颯 太

市立札幌みなみの杜高等支援学校	
責任者	藤 本 望
引率者	明 杖 子 竜
選手 1	阿 部 讓 希
選手 2	嶋 優 我
選手 3	加 藤 貴 光
選手 4	横 濱 海 未
選手 5	中 本 裕 斗
選手 6	加 藤 大 樹
選手 7	上 西 健 介
選手 8	工 藤 陽 斗

北海道今金高等養護学校	
責任者	内 田 義 文
引率者	垂 石 純 尚
選手 1	櫻 庭 亘
選手 2	津志田 龍 星
選手 3	本 多 素 直
選手 4	佐 藤 秀 眞
選手 5	由 利 直 人
選手 6	村 田 カムイ
選手 7	高 橋 悠 太
選手 8	横 山 翼

カテゴリー2

北海道札幌高等養護学校	
責任者	矢部 祥太
引率者	山本 健之
選手 1	野呂 亮太
選手 2	菊地 樹華
選手 3	加藤 聖輝
選手 4	水越 優翔
選手 5	星 心
選手 6	小倉 凜香
選手 7	米澤 湘悟
選手 8	近藤 優志

北海道紋別高等養護学校	
責任者	岩崎 祐介
引率者	熊谷 孝徳
選手 1	山本 瑛斗
選手 2	高橋 生琉
選手 3	及川 翼
選手 4	増山 翔太
選手 5	青柳 力
選手 6	小山内 将太
選手 7	今野 龍斗
選手 8	湯浅 駆

北海道高等聾学校	
責任者	中島 和也
引率者	石井 建雄
引率者	駿河 晴加
選手 1	工藤 侑摩
選手 2	井上 冬郷
選手 3	戸沢 一弥
選手 4	中村 内哉
選手 5	山崎 将央
選手 6	高橋 彪真
選手 7	佐藤 葵

北海道伊達高等養護学校	
責任者	中村 翔
引率者	嘉藤 里音
引率者	
選手 1	大高 春城
選手 2	小林 涉
選手 3	後藤 琉輝
選手 4	後藤 韻
選手 5	橋場 星空
選手 6	永野 紗羅
選手 7	平賀 絵美里

北海道小樽高等支援学校	
責任者	鈴木 宏和
引率者	浅井 勇氣
引率者	行田 瑠衣
選手 1	大西 修吾
選手 2	宮川 経
選手 3	船見 裕斗
選手 4	加藤 竜優
選手 5	高屋 銀平
選手 6	金内 勇磨

北海道白樺高等養護学校	
責任者	坪内 駿
引率者	赤澤 有輝
選手 1	遠藤 直人
選手 2	飯田 光貴
選手 3	山中 吏空
選手 4	向井 大空
選手 5	中山 太陽
選手 6	佐藤 駿吏
選手 7	前田 涼
選手 8	中山 志音

北海道釧路鶴野支援学校	
責任者	上野 太郎
引率者	坂 泰斗
引率者	岡田 文太
選手 1	成岡 勇太
選手 2	蛭名 拓朗
選手 3	鈴木 聖
選手 4	平野 龍斗
選手 5	千葉 優太
選手 6	笹原 笙
選手 7	桜井 ノエル
選手 8	粟津 大志

市立札幌豊明高等支援学校	
責任者	足立 友平
引率者	對馬 佑斗
引率者	角 淳一
選手 1	菅井 詩織
選手 2	瀨川 りこ
選手 3	A
選手 4	黒丸 瑛人
選手 5	B
選手 6	三国 玲
選手 7	C
選手 8	鈴木 大翔

北海道新篠津高等養護学校	
責任者	郡谷 凌平
引率者	松山 佳樹
選手 1	狛館 優星
選手 2	木村 水陽
選手 3	新保 祐哉
選手 4	福森 大喜
選手 5	村上 阜喜
選手 6	長屋 輝人
選手 7	遠藤 來夢
選手 8	古宮 椎真

北海道小平高等養護学校	
責任者	梶谷 美麗
引率者	小堀 将宏
選手 1	島野 勇平
選手 2	河端 竜之介
選手 3	坂本 泰我
選手 4	A
選手 5	丸山 莉音
選手 6	宮田 翔伍
選手 7	山岸 優斗

北海道函館高等支援学校	
責任者	村田 賢吾
引率者	高橋 直樹
選手 1	佐々木 隆太
選手 2	中川 海翔
選手 3	大島 隼人
選手 4	上杉 嶺
選手 5	佐藤 亮太
選手 6	日下部 駿斗
選手 7	中村 飛沫
選手 8	宮川 祐輝

北海道中標津支援学校	
責任者	佐野 涼司
引率者	寺井 えりか
選手 1	岩丸 翔太
選手 2	徳田 夕
選手 3	宇佐美 雪来
選手 4	嶋倉 一紗
選手 5	山本 結菜

選手宣誓



宣誓

我々選手一同は、第8回小野寺眞悟杯北海道特別支援学校フットサル大会に参加できることに、心からの誇りと感謝の気持ちを込めています。

これまで支えてくださった監督、コーチ、家族、仲間への感謝の気持ちを胸に、そして何より、この熱い戦いに挑むすべての選手たちへのリスペクト精神を忘れずに、日ごろの練習の成果を思う存分発揮し、フェアプレー精神で正々堂々と戦うことを誓います。

令和6年7月27日

市立札幌みなみの杜高等支援学校 阿部 讓 希

第7回大会参加者の集合写真



表紙デザイン 北海道手稲養護学校三角山分校
印 刷 北海道小樽高等支援学校
環境・流通サポート科
発行 公益財団法人明日佳

2024(令和6)年7月